桶川市は11月3日 市制施行45周年を迎えます

桶川市45年の歩み

さらに元気で活力ある 持続可能なまちづくりをめざして

桶川市長
小野　克典

桶川市は、埼玉県のほぼ中央に位置しており、古くは中山道の6番目の宿場町として栄え、江戸時代後期には、米や麦、紅花など農作物の集散地として大変賑わいました。

特に紅花は、山形の「最上紅花」に次いで全国2番目の生産量を誇り、最上地方では7月に収穫するのに対し、気候が温暖な桶川ではひと足早い6月に収穫することができたため〝早庭（はやば）（場）もの〟と呼ばれ、京都の商人に大変歓迎されたそうです。

昭和30年代頃より、都心へのアクセスのよさから都市基盤が整備され、東京方面への通勤・通学に便利な住宅都市として発展を続けてきました。昭和45年の市制施行当時の人口は約3万8千人でしたが、現在は約7万5千人が暮らすまちとなっています。

市制施行45周年を迎える本年は高崎線の「上野東京ライン」も開通し、さらには圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の桶川北本ＩＣから白岡菖蒲ＩＣ間も10月31日に開通することから、交通の利便性が飛躍的に向上し、首都圏の交通結節点として更なる発展が期待されております。

この恵まれた地の利を活かし、企業誘致や、道の駅の建設を進めるとともに、長年の懸念であった桶川駅東口の整備、新庁舎の建設等、活力あるまちづくりを現在進めております。また、10月1日には駅西口図書館がリニューアルオープンし、大型書店との併設に合わせ、知と文化のイベントスペースを設けるなど、中心市街地の新たな賑わいの創出と活性化も期待されます。

今後も、子供から高齢者まで誰もが元気にいきいきと安心安全で快適に暮らせる「元気で活力ある〝おけがわ〟」の実現に向け、全力でまちづくりに取り組んでまいります。

年代	年	月	できごと
昭和40年代	昭和45	11	11月3日市制を施行して桶川市となる
		11	太郎右衛門橋が永久橋として開通
	47	4	県立桶川高等学校が開校／東中学校が完成、移転
昭和50年代	50	4	桶川西中学校が開校
	50	11	移動図書館「むぎぶえ号」が運行／第一回市民まつりを実施
	51	10	市（民）の花・木決定
	52	1	人口が5万人を突破
	52	4	総合福祉センターが完成／子ども公園わんぱく村が完成
	53	4	桶川市農業センターが完成
	54	4	三井精機桶川工場跡地に住宅公団の進出決まる／桶川東小学校が完成
	55	4	県立桶川西高校が開校／日出谷小学校が完成
	55	11	市制施行10周年記念式典開催／市民憲章制定
	56	4	公共下水道処理を開始／加納中学校が開校
	57	11	桶川駅が橋上化される
	58	4	城山公園一部供用開始
	59	4	朝日小学校が完成
昭和60年代	昭和60	2	朝日1・2・3丁目地内の住居表示を変更／人口が6万人を突破
	61	4	駅西口公園・駅西口自転車駐輪場が完成
	62	7	桶川市立図書館（桶川公民館と併設）が開館
	63	10	駅西口図書館（桶川マイン内）がオープン
	63	10	桶川市青少年健全育成市民会議が設立
平成元年～10年	平成元	3	市役所西口連絡所が開設
	3	6	桶川サン・アリーナが完成
	6	8	川田谷生涯学習センターが完成
	10	10	滝の宮立体交差（べにばな陸橋）が開通
	1	1	べに花の郷づくり事業を開始
	6	6	「べに花まつり」を富士見ホタル親水公園で開催
	11	7	「べに花の郷桶川市」キャンペーンマークを決定
	2	10	「桶川市べに花の郷づくり推進協議会」と「桶川市べに花生産組合」が設立
	1	1	公文書公開制度と個人情報保護制度を開始
	1	11	「市民の歌」の歌詞が決定
	11	3	響の森（桶川市民ホール・さいたま文学館）が完成
	11	3	市役所東部市民サービスセンターを開設
	11	11	駅西口にエレベーターを設置
平成11年～20年	平成11	1	市役所分庁舎が上日出谷に移転
	11	2	桶川市観光協会設立
	12	7	桶川市べに花ふるさと館が開館
	13	4	市内循環バスの本格運行を開始
	13	6	富士見通り線（アンダーパス）の開通
	17	10	こども医療費対象年齢の拡大（小学校就学前→小学校修了前）
	18	7	人口7万5千人を突破
	19	2	新町名「下日出谷西」誕生
	19	4	桶川南・桶川北小学校を統合し、桶川小学校を開校
	19	10	多重債務相談窓口を設置
	20	8	新小針領家グラウンドが開設
平成21年～	平成22	1	新町名「坂田東」誕生
	22	3	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）桶川北本ＩＣ開通
	22	10	おけがわ市民花火大会を開催
	22	11	市制施行40周年記念式典を開催
	22	11	桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」が誕生
	25	7	日本初の水上式太陽光発電施設「ソーラーオンザウォーター桶川」が竣工
	26	6	健康長寿いきいきポイント事業を開始
	26	7	舎人スポーツ・パークにフットサルコートが開設
	26	11	市民活動サポートセンターが開設
	26	11	原動機付自転車オリジナルナンバープレートの交付開始
	27	1	桶川市役所仮設庁舎へ移転、業務開始
	27	9	おけがわ市民花火大会2015を開催
	27	10	駅西口図書館がリニューアルオープン

写真提供…小川和雄さん

駅西口の三井精機工場
〈現桶川マイン周辺〉
（昭和54年）

造成の進む東観団地
（昭和40年代）

駅西口図書館リニューアルオープン
（平成27年）

市民活動サポートセンター開設
（平成26年）

「オケちゃん」の
誕生日は
平成22年11月3日！
今年で
5歳べに♡

「オケちゃん」誕生
（平成22年）

火災防御訓練

消防団による地上からの放水と、ヘリコプターによる上空からの散水による消火訓練

埼玉県・桶川市総合防災訓練　8月30日

第36回九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）を実施しました

約6,000人が参加しました！

8月30日㈰に城山公園を中央会場として、桶川市では初めてで、埼玉県と合同の大規模な総合防災訓練（九都県市合同防災訓練　埼玉県会場）が、市内各所で開催されました。当日は雨天となりましたが、消防、警察、自衛隊、自主防災会をはじめ各防災関係機関の協力のもと、実践的な訓練を実施できました。

また、当日は多くの方々が来場し、様々な訓練に参加したほか、車両展示や防災フェアをご覧いただきました。

住民が参加できる実践的訓練

帰宅困難者対策訓練

JRおよび市内金融機関が参加し、一時滞在施設へ誘導し、安全確保後に徒歩帰宅支援を実施しました。

（桶川駅～保健センター）

災害ボランティアセンター立ち上げおよび運営訓練

（地域福祉活動センター）

福祉避難所開設・運営訓練

（東公民館）

中央会場（城山公園）

情報収集伝達訓練

被害状況や避難した住民の安否を確認し、チェックする体制と正確な情報伝達体制を確立するための訓練

道路啓開訓練

障害物を排除し、通行路、避難路を確保する訓練

多重衝突事故対応訓練

車両が多重衝突し、多数の傷病者が発生した想定で、トリアージを実施し、応急救護所へ搬送する訓練

炊き出し訓練

炊き出し（カレーなど）を行い、食糧を配給する訓練

～小野市長による訓練講評（一部抜粋）～

訓練当日は埼玉県をはじめ111の訓練参加・協力機関の皆様のご協力により、市単独では実施が困難な多種多様な訓練を実施することができました。

今回の訓練を通して多くの関係機関の皆様との連携を構築することができたことは、本市にとりましても大変大きな成果になりました。

災害に強いまちを目指して、これからも様々な取り組みを進めてまいりたいと考えております。

▲小野市長と上田知事が防災フェア会場を見学

その他会場

高齢者施設避難訓練

高齢者介護施設における、避難行動要支援者である高齢者の避難誘導訓練

（8月22日）

大規模商業施設初動対応訓練

（8月24日）

人事行政の運営状況等を公表

市では、市職員の給与や勤務条件の状況などを市民の皆さんに知っていただくために、人事行政の運営状況をお知らせします。

詳しくは➡総務課

1　職員の任免および職員数に関する状況

（1）新規採用の状況（平成27年４月１日現在）

区　分	新規採用 受験人数	新規採用 採用人数 男	女	合計	再任用	任期付
一　般　行　政　職	235	14	13	27	22	9
事務職（一般）	205	11	8	19	15	5
事務職（社会福祉士）	－	－	－	－	－	1
技術職（土木）	3	0	0	0	3	0
技術職（建築）	5	2	1	3	3	0
保育士	22	1	4	5	1	3
現業職	－	－	－	－	1	0

※再任用、任期付については、平成27年4月1日に在籍している職員数です。

（2）退職の状況（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

区　分	定年退職	勧奨退職	その他 普通退職	分限免職	懲戒免職	失職	死亡退職	任期満了	合計
一般行政職	16	3	3	0	0	0	1	10	33
現業職	1	0	0	0	0	0	0	0	1

（3）部門別職員数

（各年４月１日現在：地方公共団体定員管理調査から）

部　門	職員数 H26	H27	対前年増減
議　会	7	5	△2
総　務	96	103	＋7
税　務	29	28	△1
労　働	1	1	0
農　水	4	4	0
商　工	7	8	＋1
土　木	56	53	△3
民　生	119	120	＋1
衛　生	36	35	△1
一般行政計 A	355	357	＋2
教　育	52	52	0
特別行政計 B	52	52	0
普通会計の計　C＝A＋B	407	409	＋2
下　水	9	10	＋1
その他	20	21	＋1
公営企業の計 D	29	31	＋2
合計　C＋D	436	440	＋4

※地方公務員の育児休業等に関する法律に基づく任期付職員については除外しています。

（4）職位別昇格者数（平成27年４月１日付）

職　位	部長級	次長級	課長級	主幹級	主査級	主任級	主事級
昇格者数	2	4	11	8	6	12	16

（5）職員数の状況（各年４月１日現在）

職員数	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	449	439	435	434	430	430	433	437	436	440

2　職員の給与の状況

（1）職員給与費の状況（平成27年度普通会計予算）

区分	職員数	給与費 給料	職員手当	期末・勤勉手当	計
27年度	435人	1,586,984千円	324,860千円	594,942千円	2,506,786千円

注１）職員手当には退職手当を含みません。
注２）給与費は当初予算に計上された額です。

（2）職員の平均給料月額および平均年齢の状況（平成27年４月１日現在）

一　般　行　政　職 平均給料月額	平均年齢
302,059円	38.4歳

（3）職員の初任給の状況（平成27年４月１日現在）

区　分			初任給
桶川市	一般行政職	大学卒	180,800円
		高校卒	151,800円
埼玉県	一般行政職	大学卒	180,800円
		高校卒	146,500円
国	一般行政職	大学卒	174,200円
		高校卒	142,100円

（4）職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成27年４月１日現在）

区　分		経験年数10年以上15年未満	経験年数20年以上25年未満
一般行政職	大学卒	288,348円	380,228円
	高校卒	229,625円	347,723円

（5）人件費の状況（平成26年度普通会計決算）

区　分	住民基本台帳人口	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費比率（B/A）
26年度	平成27年3月31日現在 75,207人	22,112,187 千円	634,853千円	3,659,772千円	16.6％

注）人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含みます。

（6）一般行政職の級別職員数の状況（平成27年４月１日現在）（標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です）

区　分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務内容	主事補・技師補	主事・技師	主任	主査	主幹	課長	次長	部長	
職員数	32	90	54	67	14	35	9	7	308
構成比	10.4％	29.2％	17.5％	21.8％	4.5％	11.4％	2.9％	2.3％	100％

※特定業務等従事任期付職員については除外しています。

（7）職員手当の状況（平成27年４月１日現在）

区分	期末・勤勉手当	退職手当	扶養手当（月額）	住居手当（月額）	地域手当
桶川市	年間支給率4.1月分（2.15月分） 職制上の段階、職務などによる加算措置 ※（　）は、再任用短時間勤務職員に係る支給割合	勤続年数　自己都合　勧奨・定年 勤続20年　20.445月分　25.55625月分 勤続25年　29.145月分　34.5825月分 勤続35年　41.325月分　49.59月分 最高限度　49.59月分　49.59月分	配偶者　13,000円 配偶者以外　6,500円 満16～22歳までの子　5,000円加算	借家等居住者 最高27,000円まで 持家居住者　4,500円	（支給率） 5％
国	年間支給率4.1月分（2.15月分） 職制上の段階、職務などによる加算措置 ※（　）は、再任用短時間勤務職員に係る支給割合	勤続年数　自己都合　勧奨・定年 勤続20年　20.445月分　25.55625月分 勤続25年　29.145月分　34.5825月分 勤続35年　41.325月分　49.59月分 最高限度　49.59月分　49.59月分	配偶者　13,000円 配偶者以外　6,500円 満16～22歳までの子　5,000円加算	借家等居住者 最高27,000円まで	（支給率） 5％ 桶川市地域

地域手当	地域における民間の賃金水準や物価等の事情を考慮して支給する手当
通勤手当	交通機関利用者は運賃相当額、交通用具利用者は距離に応じて算出した額
特殊勤務手当	著しく危険、不快な業務など、特殊な業務に従事する職員に対して支給する手当、清掃作業手当や行方死亡人取扱手当など６種類
時間外手当	（1時間当たりの算出方法） $\frac{(\text{給料月額}+\text{地域手当})\times 12\text{月}}{(1\text{週間の勤務時間}\times 52)-(\text{祝日および年末年始の休日の日数}\times 1\text{日の勤務時間})}\times\frac{125}{100}\sim\frac{175}{100}$

（8）特別職の報酬の状況（平成27年４月１日現在）

区分	給料月額等	期末手当
市長 副市長	912,000円 780,000円	年間3.65月分
議長 副議長 議員	437,000円 384,000円 358,000円	年間3.90月分

3　職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

（1）勤務時間の状況（平成27年４月１日現在）

１週間の勤務時間	勤務時間の割り振り 始業	終業	休憩時間	週休日
38時間45分	8：30	17：15	60分	土・日曜日

（2）年次有給休暇の取得状況（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均取得日数
16,250日	3,681日	431人	8.5日

（3）育児休業等取得状況（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

区　分	男	女
継　続	0	10
新　規	0	8

（4）時間外勤務の状況（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

対象職員数	時間外勤務総時間数	平均時間外勤務時間数（１か月）
331	51,959	13.1

4　職員の分限および懲戒処分の状況

（1）分限処分　４人（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

5　職員の服務の状況

（1）職員の守るべき義務の概要

法令等及び上司の職務上の命令に従う義務、信用失墜行為の禁止、秘密を守る義務、職務に専念する義務、政治的行為の制限、争議行為等の禁止、営利企業等の従事制限

（2）営利企業等従事の許可状況（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

１件（農事実行組合長）　３件（農林業センサス指導員）　２件（農林業センサス調査員）

6　職員の研修および勤務成績の評定の状況

（1）職員研修の概要（平成26年４月１日～平成27年３月31日）　延べ420人参加

①階層別研修　156人
内訳…新規採用職員研修（前期・後期）、中堅職員研修Ⅱ（意識改革研修）、中堅職員研修Ⅲ（行政法）、主査級研修、主幹級研修、課長級研修　ほか

②特別研修　130人
内訳…人事評価者研修、クレーム対応研修　ほか

③派遣研修　134人
内訳…自治大学校、彩の国人づくり広域連合、市町村アカデミー、北足立北部共同研修会　ほか

（2）職員の勤務成績の評定方法および活用方法の概要

職務遂行に現れた職員の保有する知識、能力、執務姿勢などを職員ごとに評価し、評価結果を人事配置や職員の処遇に反映しています。

7　職員の福祉および利益の保護の状況

（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（1）定期健康診断の実施状況　390人

（2）公務災害等の発生状況　公務中　２件　通勤中　１件

8　埼玉県央広域公平委員会からの報告事項

（1）勤務条件に関する措置の要求の状況　平成26年度は、措置要求案件はありませんでした。

（2）不利益処分に関する不服申立ての状況　平成26年度は、不服申立て案件はありませんでした。